

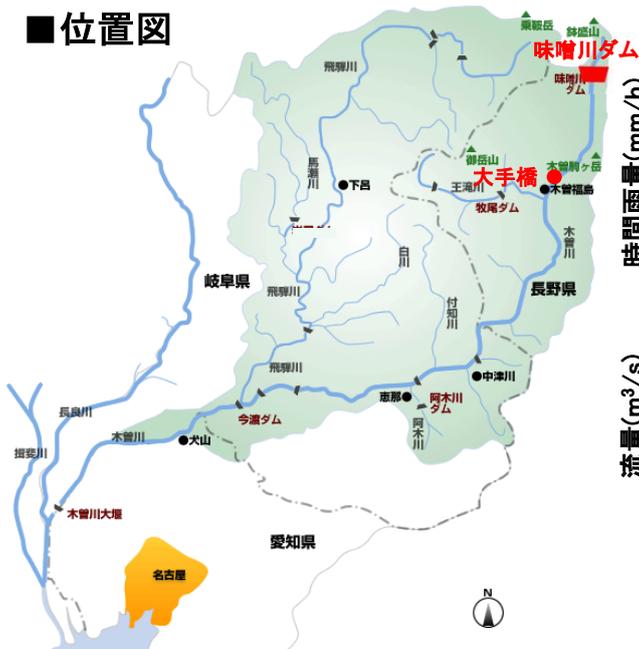
味噌川ダムの洪水調節により下流河川水位を低減

H30. 7. 4～8梅雨前線豪雨

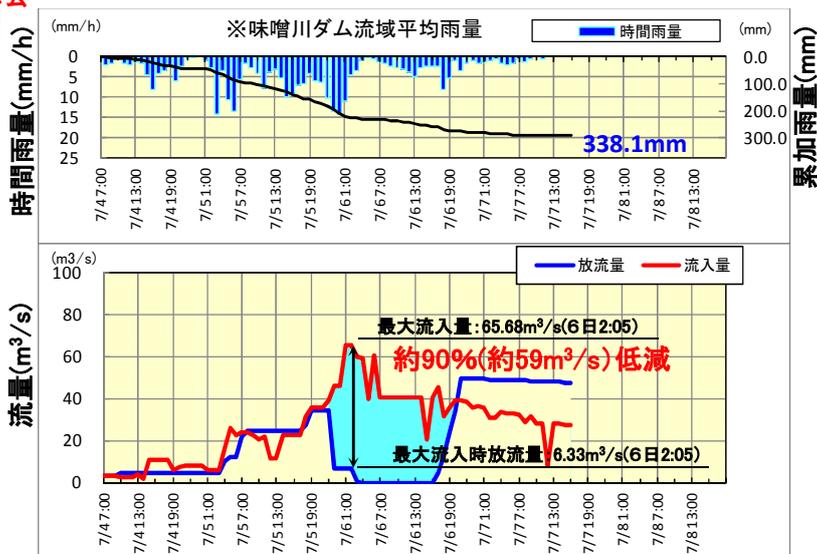
みそがわ

■活発な梅雨前線の停滞による降雨により、味噌川ダム(水資源機構)の下流河川において氾濫の恐れが生じたことから、味噌川ダムでは、ダムへの流入水を全量貯留する特別防災操作を実施し、約325万 m^3 の貯留を行いました。そのうち洪水ピーク付近では下流へ流す水量を約9割低減することによりダム下流の木曾川(大手橋地点)の水位を約25cm低下させました。

■位置図

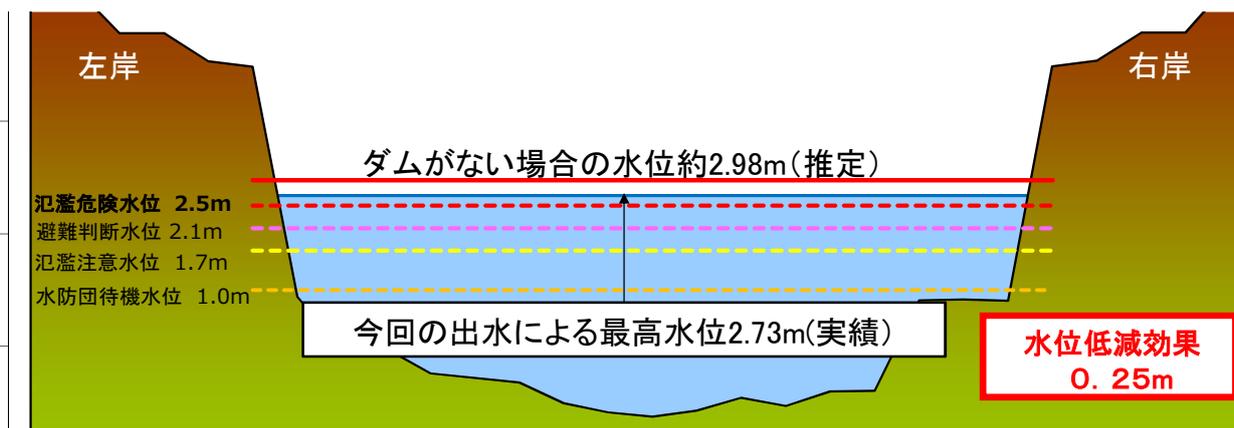


■味噌川ダム洪水調節



※味噌川ダムは、7月5日22:10より特別防災操作を開始し、下流の河川水位が低下したことを確認したうえで、6日16:30から放流を再開しました。

■味噌川ダムによる木曾川(大手橋地点)の水位低減効果



【味噌川ダム諸元】

- ・位置: 長野県木曾郡木祖村小木曾
- ・型式: ロックフィルダム
- ・堤高: 140m
- ・堤頂長: 446.9m
- ・総貯水容量: 6,100万 m^3
- ・有効貯水容量: 5,500万 m^3
- ・流域面積: 55.1 km^2